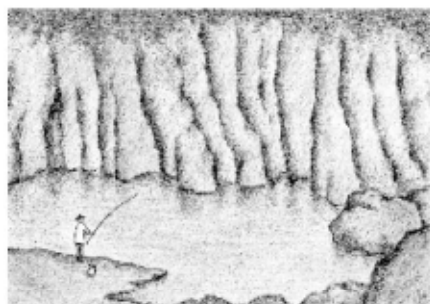


[今月の詩編]

第26篇

わたしは完全な道を歩きます。

わたしを憐れみ、贖ってください。



主は愛する者を鍛えられる

生きることは山あり谷あり。疲れて歩けないと思うこともあります。どうしたら元気が無くなり疲れ果ててしまわないで、神さまが与えてくださった命を最後まで走り抜くことができるのでしょうか。

それは、主イエスのことをよく考え、主をしっかり見つめて生きることです。この方は耐えられた方です。わたしたちが反抗して信じなかったのに、それに耐えられた。どれくらい耐えられたかという、罪と戦うために十字架で血を流さなければならぬほど、耐えて戦われた方です。

わたしたちも戦い続けます。でも、主が戦われたほど、厳しい戦いはもうなくていいのです。主が一番厳しい戦いを戦われたからです。このことを忘れると、元気が無くなり疲れ果ててしまうのです。

そして聖書は言います。主は愛する者を鍛えられる。大変なこと、試練と思われるようなことが起こる度に、わたしたちは思います。神さまはわたしのことを愛しておられない。見捨ててしまわれたのではないかと、神さまを信じることができなくなってしまうのです。

でも、それは違います。大変なことに遭うのは、皆さんが本当の神の子だからです。神さまは愛しておられるから鍛えられる。

鍛えるというのは、しつけることです。親は子どものために思って叱り、厳しく注意をします。でも、子どもはなかなか受け入れてくれません。

それは、人間の親は、自分の思うままに鍛えるからです。本当に子どものために思っていても、心の中では自分が恥をかきたくない、自分が迷惑をかけられたくないと思う。わたしたち人間はいつも、自分のことを中心に考えてしまうのです。

でも神さまは違います。神さまは本当にわたしたちのことを思い、わたしたちの益になるように鍛えられます。そして神さまは、神さまが神さまであるために最も大事な聖さに、わたしたちをあずからせようとしておられるのです。

教会では、お葬式が行われます。そこで分かるのは、皆、厳しい中を生きて来られたということです。でもそれに耐えて、人生を走り抜けた時に語られる最後の言葉に励まされ慰められます。その人の命の歩みに、神さまが豊かに実を結ばせられたからです。厳しいことがたくさんあります。神さまは愛する人を鍛えられます。でも、鍛えられた人に、平和の義の実を豊かに結ばせてくださるのです。

わたしたちはこういう信仰の先輩たちに雲のように囲まれた中に生かされているのです。教会でお葬式をするのは、信仰の先輩たちの命の歩みを通して、神さまがあなたを励ましておられるからです。あなたもこの人たちのように耐えて生きられる。だから、わたしを信じて、癒やされてからではなくて癒やされるために、もう一度、弱った手足を伸ばしてまっすぐな道を歩いてごらん。そうすれば、あなたは癒やされる。

そして、わたしたちに先立って耐えてくださった主イエス・キリストは今、父なる神さまの右に座って、あなたのために祈り、導いておられます。

(ヘブライ12・3～13)

《 今日の礼拝 》

2022年8月21日 (日)

夏季礼拝 (9時30分より)

司 式 菊池 美穂子 副牧師
聖餐可式 共 丸泥 牧師 ・ 菊池 美穂子 副牧師

○前 奏 「あめつちのみ神をば」 D.334-

○讃 美 山も野辺の空も

○十 戒

○告白の祈り

○奉 獻 頌

○使徒信条

○牧会の祈り

○主の祈り

○聖書朗読 ダニエル書6章22～23節

(旧約 P.1391)

○説 教 「獅子の口をふさぎ」

宮間 彰広 兄

○讃 美 丘の上の教会へ(1、2節)

○聖 餐 「天にまします我らの父よ」 J.S.が 76

○報 告

○頌 栄

○派遣の言葉

○祝 福

○後 奏 「教会ソナタへ長調」 W.A.モ 776

《 今日のお知らせ 》

○今日の礼拝後、特別な予定はありません。

○今週24日(水)から26日(金)の午前中、附属幼稚園は夏期保育を行います。

○26日(金)10:30～12:00シオンの会がオンラインで開催されます。教会からも参加できます。雪の下カテキズム間223～間226を読みます。参加をご希望の方は川越啓子姉までご連絡ください。

《 次週の礼拝 》

夏季礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 山も野辺も空も 丘の上の教会へ

説 教 「わたしたちが見たいものは」

聖 書 マルコ10章46節～52節

説教者 吉村 和雄 名誉牧師

